

法学部 前田直哉先生推薦



『1歩前からはじめる「統計」 の読み方・考え方』

神林博史
(ミネルヴァ書房)

本書では、統計学の一般的な教科書のように、統計データ分析が説明されているのではなく、文字通り、その「1歩前」から始めて、「『統計』の読み方・考え」を丁寧に、また例題、練習問題、イラスト、ユーモアも織り交ぜて、統計学を理解するための足がかりとなるように説明されている。

各章の冒頭部では、先生とネコとの対話から始まる。もちろん、そのネコが「ニャーニャー」と鳴いているだけでは、話が全く進まないのだから(先生がネコのそれを勝手に咀嚼するケースも考えられるが)、日本語を話す。先生と日本語を流ちょうに話すネコがその章でどのような内容を取り扱うか、ユーモア=ボケとツッコミを交えて説明している。本論では、回帰分析や検体に入る前段階までの統計学の内容(例えば、データとグラフの基礎知識、平均とパーセント、代表値とばらつき、因果関係と相関関係、データの6W4H、定義と数値)が非常に丁寧に説明されるとともに、例題、練習問題、イラスト、ユーモアもふんだんに織り交ぜられている。ここで看過してはならないのは、数学的知識が十分ではない学生にとっては、上に挙げた統計学の基礎知識でさえ「つまずきの石」となっているという現実である。著者がそのような現実を理解しているからこそ、工夫に工夫を重ねた構成になっている本書が生まれたのではなかろうか。

本書は「統計学ブーム」にあやかっただけで、巷にあふれる『マンガ統計学』のようなものではなく、社会調査を行って、ゼミナール論文を作成する学生にとって必読の書であると言っても過言ではない。